

- 問1 埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト政権（ヤマト王権）の支配者の呼び名が刻まれています。この鉄剣の銘文に見られる、当時の最高権力者の称号として正しいものを選びなさい。（2016年 高知県公立入試 類似）
1. 天皇 2. 関白 3. 皇帝 4. 大王
- 問2 日本の関東地方、現在の埼玉県に位置する前方後円墳からは、115文字の銘文が刻まれた金錯銘鉄剣（きんさくめいてっけん）が出土しています。この鉄剣に記された「ワカタケル大王」という名は、当時のヤマト政権の首長を指すとされています。この鉄剣が出土した古墳の名称として正しいものを選んでください。（2016年 三重県公立入試 類似）
1. 箸墓古墳 2. 稲荷山古墳 3. 大仙陵古墳 4. 江田船山古墳
- 問3 3世紀後半から6世紀にかけて、近畿地方だけでなく九州から東北南部までの広い範囲で、同じ「前方後円墳」という形式の古墳が作られた理由として、最も適切なものはどれか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）
1. 仏教の教えに基づき、円形と方形を組み合わせることで死者の供養になると信じられたため。 2. ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。 3. 稲作の普及により食料が豊富になったため、農作業の休憩所として全国で同じ形が採用されたため。 4. 中国の皇帝から、日本全土を統一するためにこの形状で墓を作るよう命じられたため。
- 問4 5世紀、ヤマト政権の王たちは「倭の五王」として中国の南朝に相次いで使者を送りました。当時の王たちが、朝鮮半島での軍事的な立場を有利にしたり、国内の支配体制を安定させたりするために、中国の皇帝から得ようとしたものは何ですか。（2024年 大阪府公立入試 類似）
1. 律令制度を導入するための法典や教本 2. 遣隋使や遣唐使を派遣するための正式な国交 3. 仏教を正式な国教とするための許可 4. 自らの地位や権威を証明する称号
- 問5 5世紀の朝鮮半島にある伽耶（加羅）地域から大和政権が得ていた資源で、武人の埴輪に見られるような鎧や武器の材料となり、政権の武力強化に大きく貢献した金属は何ですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
1. 青銅 2. 金 3. 銅 4. 鉄
- 問6 5世紀、ヤマト王権の首長たちは「倭の五王」として中国の南朝へ使者を派遣し、朝貢を行いました。この外交活動の主な目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2024年 山口県公立入試 類似）
1. 隋に対して対等な立場での外交を求め、中国の進んだ律令制度をいち早く導入するため 2. 仏教の公伝をきっかけとして、大陸の進んだ建築技術や工芸品を組織的に輸入するため 3. 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため 4. 邪馬台国の卑弥呼が魏から受けた称号と同様の権威を背景に、九州地方の豪族を支配するため
- 問7 世界の歴史において、7世紀初頭にムハンマドがイスラム教を創始した時期、日本において行われていた政治体制や社会状況として正しいものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）
1. 卑弥呼が「親魏倭王」の称号を授かり、邪馬台国が30余りの国を従えていた。 2. 北九州の「倭の奴国の王」が、後漢の皇帝から金印を授かっていた。 3. 大王を中心として近畿地方の豪族で構成された大和政権による統治が行われていた。 4. 平城京が建設され、律令に基づいた中央集権的な国家体制が整備されていた。
- 問8 大仙古墳に代表されるような、非常に広大な面積を占める巨大な前方後円墳が、5世紀ごろの近畿地方を中心に築かれた歴史的な背景を述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 群馬県公立入試 類似）
1. 中国の律令制度を模範とした国づくりが始まり、天皇の墓を規格化することが定められたため。 2. 朝鮮半島からの渡来人が、大陸での一般的な墓の形式である前方後円墳の技術を伝えたため。 3. ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。 4. 仏教が伝来したことで、死者を供養するための大規模な寺院建築の技術が導入されたため。
- 問9 日本列島の主要な地域を、九州北部、大阪付近、関東の内陸部、四国南東部の4地点に分けたとき、日本最大の前方後円墳である大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）が位置する場所として最も適切なものはどれか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 九州北部 2. 四国南東部 3. 関東の内陸部 4. 大阪付近
- 問10 4世紀から6世紀にかけて朝鮮半島などから日本列島へ移り住み、漢字や儒教、仏教のほか、機織り、土木、金属加工といった大陸の進んだ技術を伝えた人々を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. 防人 2. 御家人 3. 渡来人 4. 遣隋使
- 問11 5世紀後半の大和政権において、最高権力者が名乗った称号は何ですか。埼玉県の稲荷山古墳から出土した金錯銘鉄剣に、「獲加多支鹵」という人名に続けて刻まれている名称を答えなさい。（2019年 長崎県公立入試 類似）
1. 天皇 2. 執権 3. 大王 4. 將軍
- 問12 古墳時代において、特定の地域に限定されず、全国各地で大規模な前方後円墳が築造されたという事実は、当時の政治状況についてどのようなことを示していますか。最も適切な説明を選びなさい。（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。 2. 各地の豪族が、大陸から伝わった最新の墓制を競い合うようにして独自に導入したこと。 3. 狩猟・採集中心の社会から、稲作を中心とする平等な共同体へと社会が変化したこと。 4. 仏教の影響が全国に及び、共通の儀礼に基づいた埋葬方法が庶民にまで普及したこと。
- 問13 5世紀頃、ヤマト政権の王が中国の南朝へ使いを送った主な目的として、最も適切な説明はどれか。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
1. 中国の進んだ律令制度を学び、仏教を公認することで、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため 2. 魏の皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授かり、国内の豪族に対して自らの正当性を示すため 3. 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権の承認を得て、武器や農具の原料となる鉄資源を安定的に確保するため 4. 白村江の戦いで敗れた後、唐との国交を回復し、大陸の最新文化や技術を積極的に導入するため
- 問14 古墳時代の大仙古墳やその出土品について述べた文章として、正しいものを1つ選びなさい。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。 2. 大仙古墳からは、副葬品として縄文時代と同じ土偶が出土している。 3. 大仙古墳などの副葬品には金属器は含まれず、土器のみが納められた。 4. 大仙古墳は弥生時代に造られた日本最大級のお墓である。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 大王	古墳時代のヤマト政権において、最高権力者は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には「ワカタケル大王」の名が刻まれており、この称号が当時の支配者を表していたことを示しています。「天皇」という称号が公式に使われ始めたのは、7世紀後半の天武天皇・持統天皇の時代からであると考えられています。
問2	答え 2 稲荷山古墳	埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、雄略天皇（大泊瀬幼武尊）を指すとされる「ワカタケル大王」の銘文が刻まれていました。これは、5世紀後半のヤマト政権の支配力が関東地方にまで及んでいたことを示す決定的な証拠となっています。熊本県の江田船山古墳から出土した鉄刀にも同様の名が見られ、支配の広がりを裏付けています。
問3	答え 2 ヤマト政権を中心とする政治的な結びつきが、各地の豪族との間に広がったため。	特定の形状（前方後円墳）が広まったことは、地方の豪族がヤマト政権の支配体制や同盟関係に組み込まれたことを示しています。古墳の形や規模を共有することで、政権内での身分や序列を明確にする役割もありました。
問4	答え 4 自らの地位や権威を証明する称号	5世紀の朝鮮半島では高句麗が南下政策をとっており、ヤマト政権は百済や加耶（加羅）との関係を維持するために、中国の皇帝から軍事指揮権を含む官号（称号）を得る必要がありました。中国という巨大な帝国の権威を借りることで、国際的な立場を強めると同時に、日本国内の豪族たちに対する支配の正当性を主張しようとしたのが主な目的です。
問5	答え 4 鉄	大和政権は、朝鮮半島の南部に位置する伽耶（加羅）地域から鉄資源を安定的に確保し、それを用いて高度な武器や鎧を製造しました。当時の古墳から出土する武人の埴輪が鎧をまとうていることから、この金属が軍事力の象徴であったことがわかります。これにより、政権は軍事的な優位を築きました。
問6	答え 3 朝鮮半島での軍事的な優位性や鉄資源の確保に加え、国内での政治的地位を認めてもらうため	5世紀のヤマト王権にとって、武具や農具の材料となる鉄資源の確保は極めて重要でした。そのため、鉄の供給源である朝鮮半島南部での軍事的な影響力を強化することや、中国の皇帝から称号を授かることで、国内の有力な豪族たちに対して自らの王権の正当性を示すことが、この外交活動の大きな目的となっていました。
問7	答え 3 大王を中心として近畿地方の豪族で構成された大和政権による統治が行われていた。	7世紀初頭の日本は、聖徳太子（厩戸王）が推古天皇を助けて政治を行っていた時期にあたり、政治組織としては大和政権の段階にあります。同時期の世界では中東でイスラム教が誕生しています。他の選択肢について、金印の授与は1世紀、邪馬台国の女王である卑弥呼の活躍は3世紀、平城京への遷都は8世紀（710年）であり、それぞれの時期が異なります。
問8	答え 3 ヤマト政権の首長である大王が、自らの強大な権力や経済力を国内外に誇示するため。	古墳の大きさは、そこに葬られた人物の権力や、動員できた労働力の規模を象徴しています。三重の濠を持つほど巨大な大仙古墳のような古墳が造られたことは、ヤマト政権の首長（大王）が近畿地方の有力豪族をまとめ上げ、強力な支配体制を築いていたことを裏付けています。なお、仏教伝来や律令制度の導入は、これよりも後の時代のことです。
問9	答え 4 大阪付近	大仙古墳（仁徳天皇陵古墳）は、大阪府堺市にある百舌鳥古墳群を構成する古墳の一つです。5世紀の日本において、近畿地方に拠点を置いたヤマト政権（大和朝廷）の大王が、各地の豪族を従えるほどの強大な権力を確立していたことを示す重要な史跡です。
問10	答え 3 渡来人	4世紀から6世紀にかけて、朝鮮半島の戦乱などを背景に、多くの人々が日本列島へ移住しました。彼らは渡来人と呼ばれ、大陸の高度な技術や文化を日本へもたらしました。彼らが伝えた漢字は、後の公文書作成の基礎となり、仏教の伝来は日本の文化や政治のあり方に大きな影響を与えました。
問11	答え 3 大王	5世紀の大和政権の盟主は「大王（おおきみ）」と呼ばれていました。埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、雄略天皇にあたるとされる「獲加多支鹵（ワカタケル）」の名とともにこの称号が刻まれており、当時の政治体制を示す貴重な史料となっています。天皇という称号が使われ始めるのは、さらに後の7世紀後半（飛鳥時代）になってからです。
問12	答え 1 大和政権を中心とした政治的な連合や服属関係が、各地の豪族との間に結ばれていたこと。	前方後円墳という日本独自の特定の形式が列島の広い範囲に普及したことは、それらの地域が「大和政権」を中心とする政治秩序の中に組み込まれていたことを意味します。共通の墓の形を採用することは、大和の王との結びつきを周囲に示す重要な手段でもありました。
問13	答え 3 朝鮮半島南部における軍事的な指揮権の承認を得て、武器や農具の原料となる鉄資源を安定的に確保するため	5世紀の「倭の五王」は、中国の南朝へ遣使し、朝鮮半島南部での軍事的な優位性を認めさせることで、当時日本国内で産出できなかった鉄資源を安定して入手しようとしていました。これにより、強力な武器や効率的な農具を生産し、半島諸国や国内の豪族に対して政治的な優位を保つ狙いがありました。
問14	答え 1 大仙古墳は前方後円墳と呼ばれる形状を持ち、周囲には埴輪が並べられた。	大仙古墳は古墳時代に造られた日本最大の前方向後円墳であり、その周囲には埴輪が並べられました。土偶は縄文時代の遺物であり、古墳の副葬品には銅鏡や鉄剣などの金属器も含まれます。